



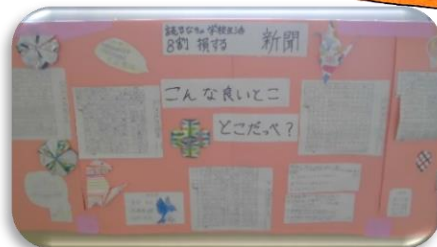
# 図書だより 5月号

令和5年度 牛久第一中学校図書館

## 『牛久一中の良いところ新聞』に…



昨年度の1年生が国語の授業で、牛久一中の良いところを新聞にまとめました。その中に図書室を紹介してくれた生徒がいましたので、ここで紹介させていただきます。



牛久一中の良いところは、図書館にいろいろな本のジャンルがあつたり、ライトノベルがあつたりするところです。本のジャンルでは、『ソードアート・オンライン』から『元彼の遺言状』などの多岐にわたります。ライトノベルでは『本好きの下剋上』など有名なものがあります。また、放課後などにも本が借りられます。…(以下略)

(2-3岡部千波さん)

図書室前の廊下に  
掲示してあります。  
みなさん見てね!



## 『読書』何がそんなにいいの？

面白いだけじゃないこんな効果が…

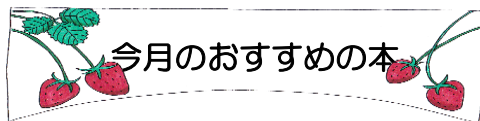


**1. 語彙力アップ** 読書をする中で、知らなかった言葉に出会うことで、語彙力を磨くことができます。言葉だけを見たり聞いたりして覚えるよりも、ストーリーとともに言葉が詰め込まれることによって、より記憶の中に残ると考えられます。

**2. 集中力アップ** 読書が習慣化している人は、集中力がより長時間続くようになると言われています。また、新しい本を探し、読んでみることを繰り返す中で、自分が興味をもって最後まで読めるような本を選ぶ力もついてきます。そして、最後まで没頭して読み切る経験を重ねる事で、集中力を高めていけるのです。

**3. 感受性アップ** 登場人物の気持ちに共感したり、あたかも自分が体験したかのような満足感を得たりすることで、豊かな感受性が育つと言われてています。また、自分とは違った生き方や考え方をしている登場人物の場合、その気持ちや考え方を理解することで、様々な考え方や価値観があることを知り、他者の存在を柔軟に受け入れられるようになります。

始めよう、読書！継続は力なり



『あと少し、もう少し』  
瀬尾まいこ 新潮社



中学校の駅伝で、県大会を目標に頑張る6人の物語。1区から6区まで襷を渡していくように、それぞれのメンバーの視点で物語が進みます。襷をつないでゴールまであと少し、誰かのために走ることでつかめるものがある。

陸上の練習を頑張っている人、総体に向けて頑張っている人、熱い心を持っている(もちたい)人に特におすすめの一冊です。

